令和7年度 新規採択希望

土 地 改 良 事 業 計 画 書

大 瀬（おおぜ） 地 区

三 朝 町

目　　次

第１章　目　　的 …… 1

第２章　地域及び地積 …… 1
　第１節　地　　域 …… 1
　第２節　地　　積 …… 1

第３章　現　　況 …… 1
　第１節　気象及び海象 …… 1
　　１．一 般 気 象 …… 1
　　２．特 殊 気 象 …… 2
　　３．海　　象 …… 2
　第２節　土 地 状 況 …… 2
　　１．地形、土壌及び侵食の程度 …… 2
　　２．土 地 分 類 …… 4
　　３．土地利用の状況 …… 5
　　４．土地所有の状況 …… 5
　第３節　水 利 状 況 …… 6
　　１．用 水 状 況 …… 6
　　２．排 水 状 況 …… 8
　　３．河 川 状 況 …… 11
　第４節　道 路 現 況 …… 12
　　１．道 路 概 況 …… 12
　　２．主要道路一覧表 …… 12
　第５節　地域農業の概況 …… 14
　　１．産業別就業人口 …… 14
　　２．経営耕地広狭別農家数及び耕地の
　　分散状況並びに専兼別農家数 …… 14
　　３．動力農機具及び主要家畜頭数 …… 14
　　４．主要作物作付状況 …… 15
　　５．農業の動向 …… 16
　第６節　地域環境の概況 …… 17
　　１．自然環境 …… 17

第４章　一 般 計 画 …… 18
　第１節　事業計画の要旨 …… 18
　　１．要　　旨 …… 18
　　２．事業別面積 …… 18
　第２節　営農計画及び土地利用計画 …… 19
　　１．営農計画の概要 …… 19
　　２．土地利用区分 …… 19
　　３．作 付 方 式 …… 20
　　４．生 産 計 画 …… 21
　　５．労働改善計画 …… 22
　　６．級地別土地利用区分 …… 23
　　７．土地配分計画 …… 23

第３節　用 水 計 画 …… 24
１．計画基準年 …… 24
２．計画かんがい方式 …… 25
３．計画用水系統 …… 25
４．計画用水量 …… 26
５．水 源 計 画 …… 26
第４節　排 水 計 画 …… 29
１．計画基準雨量 …… 29
２．計画排水方式 …… 29
３．計画排水系統 …… 29
４．計画排水量 …… 29
５．排 水 対 策 …… 31
６．たん水検討 …… 31
第５節　道 路 計 画 …… 32
１．道路及び索道 …… 32
２．路線配置図 …… 33
第６節　農用地造成計画 …… 34
１．農用地造成計画 …… 34
２．土 壌 改 良 …… 34
第７節　洪水調節計画 …… 34
１．計画基準雨量 …… 34
２．計画洪水量及び調節量 …… 34
３．貯　水　池 …… 34
４．洪水調節検討 …… 35
５．管 理 計 画 …… 35
第８節　干 拓 計 画 …… 35
第９節　農用地整備計画 …… 36
１．区 画 整 理 …… 36
２．暗 渠 排 水 …… 37
３．客　　土 …… 37
４．農 地 保 全 …… 38
第10節　老朽ため池改修計画 …… 38
１．洪水吐改修計画 …… 38
２．堤体補強計画 …… 38
３．取水施設改修計画 …… 38

第５章　主要工事計画 …… 39
第１節　用 水 施 設 …… 39
１．貯　水　池 …… 39
２．頭　首　工 …… 39
３．揚　水　機 …… 39
４．用　水　路 …… 40
５．その他かんがい施設 …… 40
第２節　排 水 施 設 …… 41
１．排 水 水 門 …… 41
２．排　水　機 …… 41
３．排　水　路 …… 41
４．その他排水施設 …… 41
第３節　道路及び索道 …… 42
１．道　　路 …… 42
２．索　　道 …… 42

第４節　農用地造成 ---------- 43
１．農用地造成工 ---------- 43
２．土 壌 改 良 ---------- 44
第５節　洪水調節施設 ---------- 45
１．貯　水　池 ---------- 45
２．頭首工及び導水路 ---------- 45
第６節　干 拓 施 設 ---------- 46
１．堤　　防 ---------- 46
２．潮　止　め ---------- 46
３．付 属 施 設 ---------- 46
４．埋　　立 ---------- 46
第７節　農用地整備施設 ---------- 47
１．区 画 整 理 ---------- 47
２．暗 渠 排 水 ---------- 48
３．客　　土 ---------- 48
４．除　　礫 ---------- 48
５．農 地 保 全 ---------- 49
第８節　老朽ため池改修施設 ---------- 50
１．貯　水　池 ---------- 50
２．堤体補強施設 ---------- 50

第６章　付帯工事計画 ---------- 51

第７章　工事の着手及び完了の予定時期 ---------- 51

第８章　環境との調和への配慮 ---------- 52

第９章　換地計画の概要 ---------- 53
第１節　換地計画を作成する上での
基本的な考え方 ---------- 53
第２節　換地区の設定 ---------- 53
１．換地の名称、所在、面積 ---------- 53
２．換地区を設定する理由 ---------- 53
第３節　換地計画樹立の基本方針 ---------- 53
１．従前の土地の面積の基準 ---------- 53
２．用途別予定地積 ---------- 54
３．農用地集団化の方針 ---------- 55
４．非農用地の換地方法 ---------- 55
第４節　土地の評価及び清算の方法 ---------- 56
１．評価の方法 ---------- 56
２．清算の方法 ---------- 56
第５節　換地計画樹立の年度計画 ---------- 56
第６節　換地処分の時期に関する特則 ---------- 56

第10章　事業費の総額及び内訳 ---------- 57

第11章　効　　用 ---------- 58

第12章　関連する事業 ---------- 58

第13章　現況・計画図面 ---------- 58
１．現況平面図
２．計画平面図
３．土地利用計画図
４．主要構造物

第１章　目　　的

本地区は、住宅地と河川との間の限られた平野に展開しており、区画は狭小かつ不整形である。道路網が未整備であるため農道に直接面していないほ場があり、農道は狭小で大型農業機械の通行が困難な状況である。用排水路も未整備であり、効率的な営農の妨げとなっている。

営農は稲作中心とした作付体系で、小型機械個人利用の機械利用体系である。高齢化が進行しているため担い手への農地集積を検討しているが、労働生産性が低く規模拡大が難しいことから、農地集積が進まない状況となっている。

本計画は、耕地の区画整理、道路網の完備、用排水路の整備、中型機械導入による省力化、作物の合理的な栽培を行うことにより、労働生産性を向上することで収益性の確保し、担い手への農地集積を促進することで、地域の永続的な農業発展を図るものである。

第２章　地 域 及 び 地 積

第１節　地　　域

（第１表）

事　　業　　名	地　　域
農地耕作条件改善事業	鳥取県　三朝町　大瀬

第２節　地　　積

（令和5年12月現在）　（第２表）

事　　業　　名		現況地目／市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備　　考
農地耕作条件改善事業	区画整理	三　　朝　　町	1.8	0.5	－	－	0.3	2.6	
	計（全体）		1.8	0.5	－	－	0.3	2.6	

第３章　現　　況

第１節　気象及び海象

１．一般気象

（第３－１表）

観測所名	倉吉	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備　　考
観測期間	平成5年～令和4年	４月～９月	１０月～３月		
平均気温		20.8 ℃	8.8 ℃	14.8 ℃	
降水量	平　　均	923.8 mm	857.3 mm	1,781.1 mm	
	基 準 年	929.0 mm	800.0 mm	1,729.0 mm	1/10年　平成10年
降水日数	平　　均	70.5 日	92 日	162.6 日	
	基 準 年	72.0 日	81 日	153.0 日	1/10年　平成10年
根　雪　期　間		月　　日 ～	月　　日	日間	
無　霜　期　間		月　　日 ～	月　　日	日間	
最　多　風　向			最大風速 (風向)	m/s ( )	最多風向発生時期 最大風速発生年月日

２．特殊気象　　（第３表－２）

観測所名 倉吉	第１位			第２位			第３位			第４位			第５位			備考
観測期間 平成5年～令和4年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量(mm)	325.5	R3.7.7	1/80	218.0	H30.9.30	1/20	195.0	H23.9.3	1/15	185	H9.7.17	1/10	169	H10.10.17	1/8	
最大時間雨量(mm)	48.0	H9.7.17	1/50	47.0	R3.7.7	1/40	42.0	H10.10.17	1/15	40.0	H18.7.17	1/10	39.5	H28.9.8	1/10	
最大４時間雨量(mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
最大連続雨量(mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
最大連続旱天日数(日)	53	H6.6.29	1/300	47	H30.7.8	1/50	38	H12.7.26	1/30	31	H24.7.13	1/10	29	H7.7.23	1/8	

３．海　　象　　該当なし　　（第３表－３）

観測所名 観測期間　　年～　　年	既住最高潮位	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均干潮位	さく望平均干潮位	既住最低潮位		備考
実測値									

第２節　土地状況

１．地形、土壌及び侵食の程度　　（第４表－１－１）

事業名	地目	田						畑・その他							受益地標高		備考
	傾斜区分	1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20以下1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15° 8°～10°	8°～15° 10°～15°	15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
区画整理	面積			1.8			1.8	0.8						0.8	37.90	35.10	
	比率%			100			100	100						100			
合計 (全体)	面積			1.8			1.8	0.8						0.8			
	比率%			100			100	100						100			

（第４表－１－２）

項目 / 土壌統（区）名	土壌統区区分一覧表										面積(ha)			備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層、黒泥層及びグライ層			区画整理		計（全体）	
					表土	下層土								
					一層	二層	三層							
灰褐色土壌 壌土マンガン型	灰褐	含む	なし	あり	L	SL	L	なし	河岸沖積	火山岩屑	2.6		2.6	類型番号63
計											2.6		2.6	

該当なし

（第４表－１－３）

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ侵蝕の程度		備考
		0	0 ～ 25%	25 ～ 50%	50% 以上	0	3mm 未満	3 ～ 5mm	5mm 以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積											
	比率%											

２．土 地 分 類　　該当なし

（第４表－２－１）

級地別 / 市町村名	農用地造成											計	備考
		二級地				三級地				四級地			
	一級地 (ha)	※ (ha)	3°～8° (ha)	8°～12° (ha)	12°～15° (ha)	※ (ha)	15°～20° (ha)	20°～25° (ha)	25°～30° (ha)	※ (ha)	30°以上 (ha)		
													※は傾斜以外の要因によるもの
計													

（第４表－２－２）

級地別 / 市町村名	干拓					備考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

３．土地利用の状況　　（令和6年9月現在）　　（第４表－３）

事業名	土地利用別 / 面積	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農地耕作条件改善事業	三朝町	1.8	0.5	－	－	－	－	－	－	－	－	0.3	2.6	
	計	1.8	0.5	－	－	－	－	－	－	－	－	0.3	2.6	
	計	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
合計		1.8	0.5	－	－	－	－	－	－	－	－	0.3	2.6	

４．土地所有の状況　　（第４表－４）

事業名		所有別 / 区分	個人有	共有	法人有		計	備考
農地耕作条件改善事業	大瀬	面積(ha)	2.2	0.1			2.3	
		関係戸数(戸)	18	1			19	
		筆数(筆)	26	2			28	
		権利関係	所有権	所有権				
		備考(関係戸数)						
		面積(ha)						
		関係戸数(戸)						
		筆数(筆)						
		権利関係						
		備考(関係戸数)						
合計（全体）		面積(ha)	2.2	0.1			2.3	
		関係戸数(戸)	18	1			19	
		筆数(筆)	26	2			28	
		権利関係	所有権	所有権				
		備考(関係戸数)						

第３節　水　利　状　況

１．用 水 状 況

本地区は、一級河川天神川水系三徳川に取水口を設け取水している。地区内の用水路は未整備であり、農地が不整形な為、水路の法線は現況のほ場に合わせた形状となっており、屈曲している状態である。

（１）用水系統　　別紙の通り

（２）用水施設

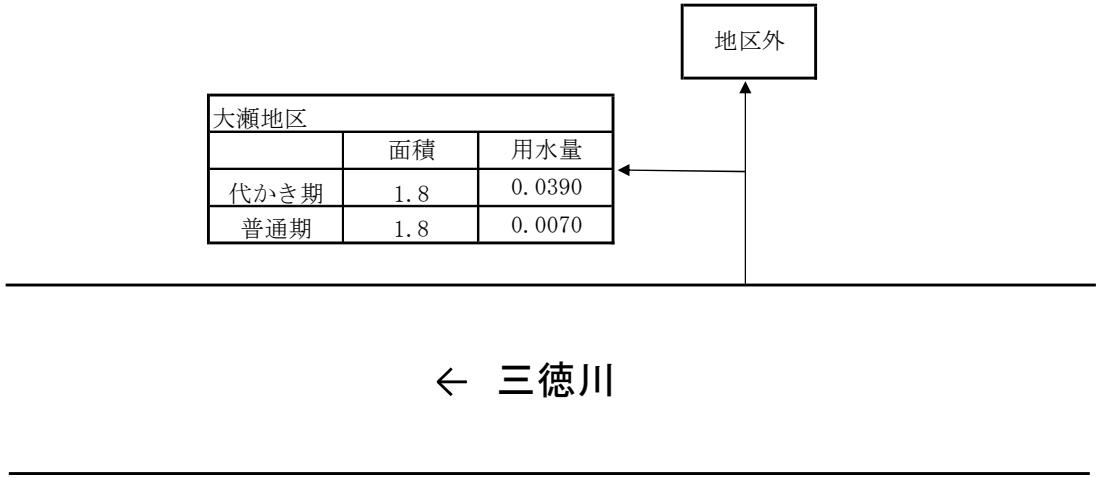
（ア）取水方法一覧表　　（第５表－１）

事業名	項目／施設名	かんがい面積 500 ha以上		かんがい面積 500～100 ha		かんがい面積 100 ha未満		計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		個所	ha	個所	ha	個所	ha	個所	ha	個所	m^3/s	個所	m^3/s	m^3/s	
農地耕作条件改善事業	貯水池														
	井堰														
	自然取入口					1	1.80	1	1.80			1	0.0390		
	揚水機														
	その他														
合計						1	1.8	1	1.8			1	0.0390		

（イ）改修を要する施設一覧表　　（第５表－２）

事業名	施設名／項目		個所数	受益面積	構造	規模	新設又は更新年月日	改修を必要とする理由	備考
農地耕作条件改善事業	貯水池								
	井堰								
	自然取入口								
	揚水機								
	用水路	用水	m	1.80 ha	土水路	300×300	不明	区画整理による	
		用排兼用	1064 m						
	その他								
合計									

（1）用水系統



凡例

地区名
代かき期用水量（m3/s）
普通期用水量（m3/s）

（３）用水不足による被害状況

（ア）用水不足による被害状況　　該当なし

（第５表－３－１）

事業名	項目 / 系統名	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m³)	不足水量				平均減産量 (t)		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				
				平均 (m³/s)	基準年 (m³/s)	平均 (千m³)	基準年 (千m³)	作物名	減産量 (t)	
	計									
合計										

（イ）その他の被害状況　　該当なし

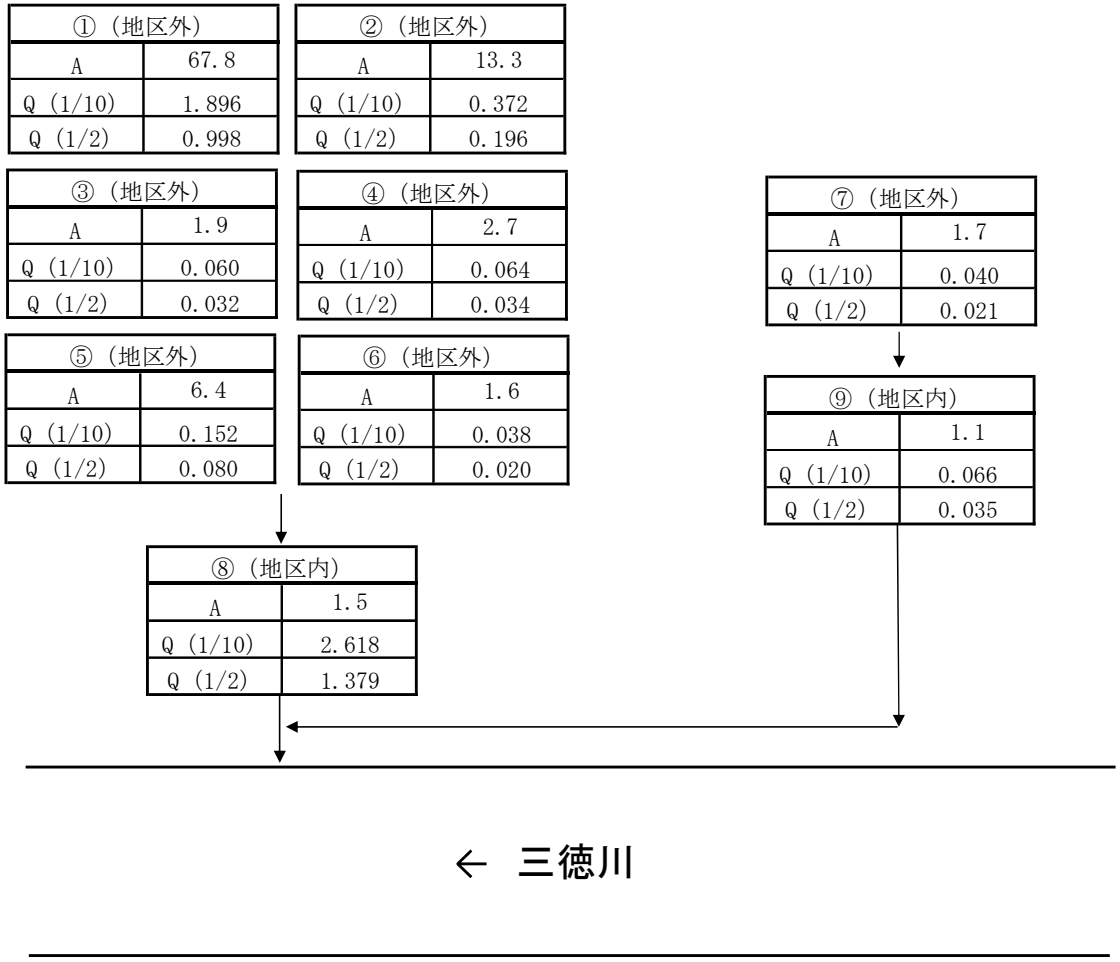
（４）ため池決壊の場合の被害状況　　該当なし

２．排 水 状 況

本地区の水路は、一部を除き用排兼用の水路である。農地が不整形な為、水路の放線もほ場に合わせ、屈曲している状態である。
また、地区の幹線排水路は断面が不足しており、豪雨時には水田ほ場に溢水する状況である。
排水は、三徳川を経て日本海に自然排水されている。

（１）排水系統　　別紙の通り

（１）排水系統


①（地区外）
A 67.8
Q（1/10） 1.896
Q（1/2） 0.998
②（地区外）
A 13.3
Q（1/10） 0.372
Q（1/2） 0.196
③（地区外）
A 1.9
Q（1/10） 0.060
Q（1/2） 0.032
④（地区外）
A 2.7
Q（1/10） 0.064
Q（1/2） 0.034
⑤（地区外）
A 6.4
Q（1/10） 0.152
Q（1/2） 0.080
⑥（地区外）
A 1.6
Q（1/10） 0.038
Q（1/2） 0.020
⑦（地区外）
A 1.7
Q（1/10） 0.040
Q（1/2） 0.021
⑧（地区内）
A 1.5
Q（1/10） 2.618
Q（1/2） 1.379
⑨（地区内）
A 1.1
Q（1/10） 0.066
Q（1/2） 0.035
← 三徳川

（２）排水施設

（ア）排水方法一覧表　　（第５表－４）

事業名	項目 / 施設名		排水面積 500 ha以上 個所	500 ha以上 ha	500～100 ha 個所	500～100 ha ha	100 ha未満 個所	100 ha未満 ha	計 個所	計 ha	排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考
農地耕作条件改善事業	自然	排水路					1,064m	98.0	1,064m	98.0		2.684	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
合計							1,064m	98.0	1,064m	98.0		2.684	

（イ）改修を要する施設一覧表　　（第５表－５）

事業名	項目 / 施設名		施設名又は個所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設又は更新年月日	改修を必要とする理由	備考
農地耕作条件改善事業	自然	排水路	1,064 m	98.0	石積又は土水路	300×300 ～1000×1000	不明	区画整理による	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
合計			1,064 m	98.0					

（３）排水に関する被害状況　　該当なし　　（第５表－６）

事業名	項目 / 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況 湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	乾湿状況(ha) 田 乾	田 湿	畑 乾	畑 湿	その他 乾	その他 湿	平均減産量 作物名	減産量 (t)	備考
			平均														
			基準年														
合計																	

３．河川状況

（１）河川状況　　（第５表－７）

項目 / 河川名	流路状況	勾配	断面	安全洪水量 (m^3/s)	既住最大洪水量 (m^3/s)	備考
		－	－	－	－	

（２）洪水に関する被害状況　　該当なし　　（第５表－８）

項目 / 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第４節　道　路　概　況

１．道路概況

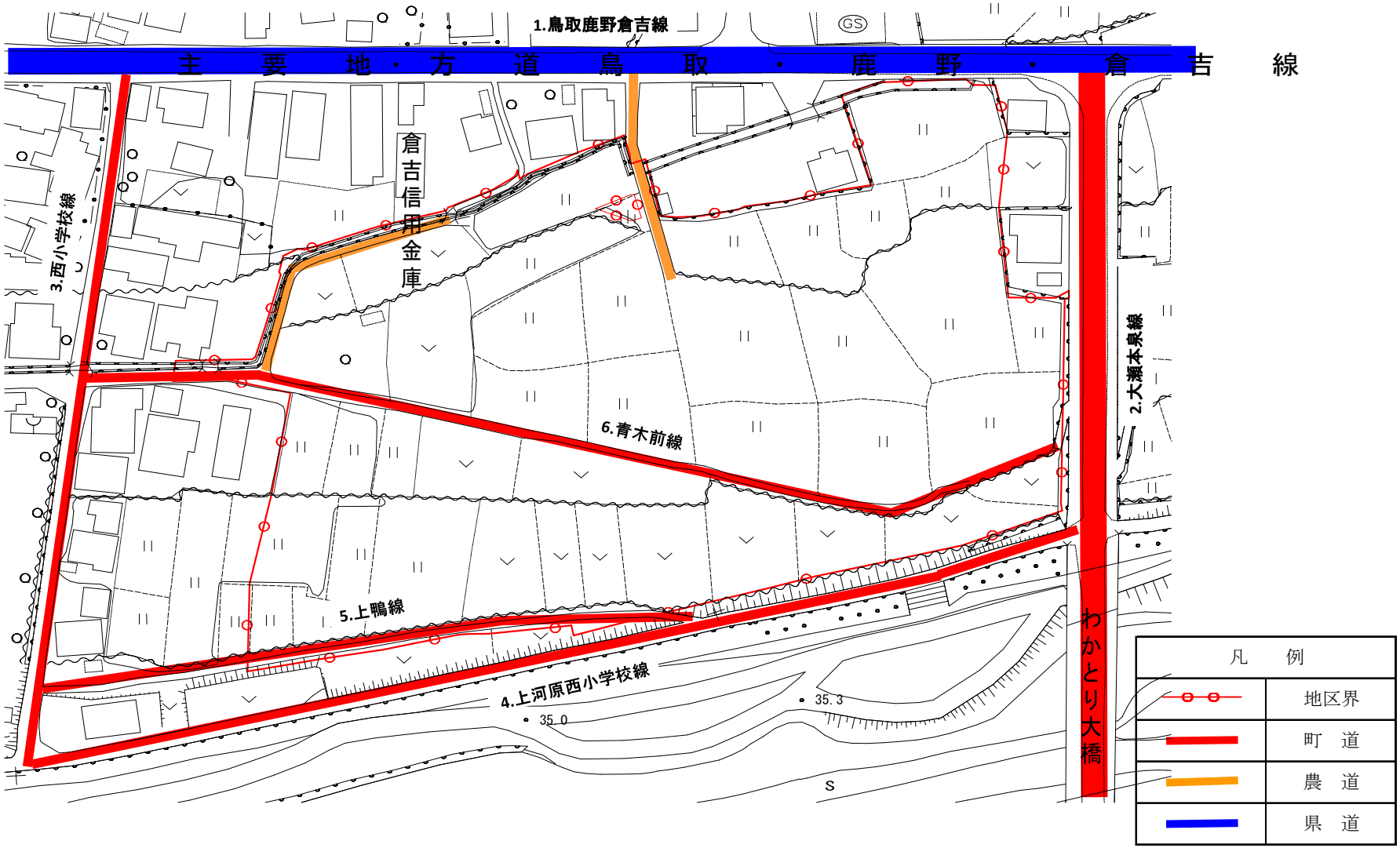
現況道路については、狭小かつ未整備であるため、機械・資材の搬入、生産物の搬出、通作等に苦慮しており、農業の労働生産性向上を著しく阻害しているところである。このため、ほ場整備内に新設の農道を整備し、農業労働生産性の向上を図る必要がある。

２．主要道路一覧表

（第６表）

No	路　線　名	管理区分別	延　長 (m)	幅員 (m)		構　造	改善の要否	備　考
				全　幅	有　効			
1	鳥取鹿野倉吉線	鳥　取　県	260.0	9.0	7.0	アスファルト舗装	否	
2	大瀬本泉線	三　朝　町	120.0	9.0	7.0	アスファルト舗装	否	
3	西小学校線	三　朝　町	200.0	4.0	3.0	アスファルト舗装	否	
4	上河原西小学校線	三　朝　町	300.0	4.0	3.0	アスファルト舗装	否	
5	上鴨線	三　朝　町	130.00	4.0	3.0	未舗装	否	
6	青木前線	三　朝　町	250.00	3.0	2.0	未舗装	要	

道 路 網 図


1.鳥取鹿野倉吉線
主 要 地 ・ 方 道 鳥 取 ・ 鹿 野 ・ 倉 吉 線
GS
倉吉信用金庫
3.西小学校線
2.大瀬本泉線
6.青木前線
5.上鴨線
4.上河原西小学校線
わかとり大橋
35.3
35.0
S
凡 例
地区界
町 道
農 道
県 道

第５節　地域農業の概況

１．産業別就業人口　　R2年(2020)　国勢調査　　（第７表－１）

項目 / 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ｶﾞｽ熱供給水道業 (人)	運輸通信業 (人)	卸売小売業飲食店 (人)	金融保険業 (人)	不動産業 (人)	ｻｰﾋﾞｽ業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
三朝町	3,060	346	27	－	2	222	372	8	100	736	35	11	392	139	670	
計	3,060	346	27	－	2	222	372	8	100	736	35	11	392	139	670	
比率(%)	100.0	11.3	0.9		0.1	7.3	12.1	0.3	3.3	24.1	1.1	0.4	12.7	4.5	21.9	

２．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業農家数　　R2年(2020)年センサス　　（第７表－２）

区分 / 市町村名	農家総戸数(戸)	経営耕地広狭別農家数（戸）											1戸当平均農用地面積(ha)						耕地の分散状況		専兼業農家数（戸）			備考
		例外規定の適用を受けるもの	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0 ha以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	一戸当団地数	団地当り面積(ha)	専業	兼業 第一種	兼業 第二種	
三朝町	331	－	120	135	32	13	7	16	5	1	2	－	0.94	0.36	0.43	1.73	5.60	7.33						
計	331	－	120	135	32	13	7	16	5	1	2	－	0.94	0.36	0.43	1.73	5.60	7.33						
比率(%)	100.0	－	36.3	40.8	9.7	3.9	2.1	4.8	1.5	0.3	0.6	38.8	12.8	4.9	5.9	23.6	76.4	100.0			－	－	－	

主要家畜：R2年(2020)年センサス
動力農機具：H27年(2015)年センサス

３．動力農機具及び主要家畜頭数　　（第７表－３）

項目 / 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	トラクター		田植機		自脱型コンバイン		動力防除機		乳用牛		肉用牛		豚				
	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	
三朝町	360	323	286	276	127	111	－	－	210	5	x	4	－	－			
100戸当たり数量(台、頭)	111		104		114												
利用戸数の割合		97.6		83.4		33.5											

４．主要作物作付状況　　令和５年農林水産統計年報　（第７表－４）

市町村名			三朝町						計	平均	作付率(%)	備考
総耕地面積(ha)			736						736			
総本地面積(ha)			440						440			
区分 / 作物名			作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)		
田	表作	水稲	250	427					250	427	100.0	
田	表作											
田	裏作											
田	裏作											
田	小計		250						250		100.0	
畑	春夏作											
畑	春夏作											
畑	秋冬作											
畑	秋冬作											
畑	小計											
樹園地												
樹園地												
樹園地	小計											
計			250						250		100.0	
市町村別延べ作付率(%)			56.8						56.8			

５．農業の動向

（第７表－５）

項目 区分	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域指定等	備考
		B	A (現在)		B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)	農機具名	B	A (現在)		
変化の状況 （C年を100とする指数）	総農家数	83	64	耕地	89	80	水稲	93	x	乳用牛	85	111	ﾄﾗｸﾀｰ	77	－	農業振興地域昭和46年	A：令和2年（2020ｾﾝｻｽ） B：平成27年（2015ｾﾝｻｽ） C：平成22年（2010ｾﾝｻｽ） 「x」は、秘密保護上統計数値を公表しないもの
	主業農家数	70	55	田	97	84	野菜類	x	x	肉用牛	x	x	田植機	77	－		
	準主業農家数	80	47	畑	103	163	豆類	380	x	豚	－	－	自脱型ｺﾝﾊﾞｲﾝ	89	－		
	副業的農家数	85	70	樹園地	41	17	いも類	100	0								
	農業就業人口	97	68				雑穀	－	－								
変化の理由																	

第６節　地域環境の概況

本地区は、鳥取県の中央部に位置する中山間地域であり、天神川、三徳川、加茂川の３河川が合流する地点に形成された沖積平野に位置している。山間の限られた平坦地において、雄大な森林を背景とした農地が形成する美しい景観は、四季を通して住民にやすらぎを与えている。

１．自然環境

（１）気　象

本地区の気象状況は、年間平均気温14.8℃、年間降水量は約1,781ｍｍと多い。

（２）地形・地質

地形勾配が１/100程度で、地質は灰褐色土壌壌土マンガン型に分類されている。

（３）水環境

本地区の用水は、1級河川三徳川を取水源としており、地区内の水路は用排兼用となっている。

（４）動植物

鳥取県RDBで保護上重要な種に指定されているカジカガエルが生息している地域である。

（５）景　観

本地区は、鳥取県の中央部に位置する中山間地域であり、山間の限られた平坦地において、雄大な森林を背景とした農地が形成する美しい景観は、四季を通して住民にやすらぎを与えている。

第４章　一　般　計　画

第１節　事業計画の要旨

１．要　　旨

本地区は、住宅地と河川との間の限られた平野に展開しており、区画は狭小かつ不整形である。道路網が未整備であるため農道に直接面していないほ場があり、農道は狭小で大型農業機械の通行が困難な状況である。用排水路も未整備であり、効率的な営農の妨げとなっている。

営農は稲作中心とした作付体系で、小型機械個人利用の機械利用体系である。高齢化が進行しているため担い手への農地集積を検討しているが、労働生産性が低く規模拡大が難しいことから、農地集積が進まない状況となっている。

本計画は、耕地の区画整理、道路網の完備、用排水路の整備、中型機械導入による省力化、作物の合理的な栽培を行うことにより、労働生産性を向上することで収益性の確保し、担い手への農地集積を促進することで、地域の永続的な農業発展を図るものである。

２．事業別面積

（第８表）

事業名 / 土地利用区分 / 事業目的	農地耕作条件改善事業												計	備　考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)		小計 (ha)	道路 (ha)	水路 (ha)	山林原野等 (ha)	非農用地 (ha)		小計 (ha)		
区画整理	1.6	0.5	－	－		2.1	0.4	0.1	－	－		0.5	2.6	
計（全体）	1.6	0.5	－	－		2.1	0.4	0.1	－	－		0.5	2.6	

第２節　営農計画及び土地利用計画

１．営農計画の概要

区画整理を行い、農地の集積・集約化を進め効率的かつ安定的な農業経営を行う。

２．土地利用区分

（第９表－１）

事業名 ＼ 項目		区分 ＼ 地目	水田 (ha)	普通畑 (ha)	水田(畑) (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　考
農地耕作条件改善事業	区画整理	現　況	1.8	0.5	－	－	－	0.3	2.6	－	－	－	2.6	
		計　画	1.6	0.5		－	－	0.5	2.6	－	－	－	2.6	
		現　況												
		計　画												
		現　況												
		計　画												
計（全体）		現　況	1.8	0.5	－	－	－	0.3	2.6	－	－	－	2.6	
		計　画	1.6	0.5	－	－	－	0.5	2.6	－	－	－	2.6	

３．作 付 方 式

（第９表－２）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												2年目												3年目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
農地耕作条件改善事業	現況	牧草	畑									○	○	—	—	—	—	—	▨					○	○	—	—	—	—	—	▨					○	○	—	—	○ 播種
		水稲単作	水田			○	○	△	—	—	—	▨						○	○	△	—	—	—	▨						○	○	△	—	—	—	▨				☘ 定植
																																								△ 移植
																																								▨ 収穫
																																								—— 栽培期間
																																								------ 育苗期間
	計画	牧草	畑									○	○	—	—	—	—	—	▨					○	○	—	—	—	—	—	▨					○	○	—	—	
		水稲表作	水田			○	○	△	—	—	—	▨						○	○	△	—	—	—	▨						○	○	△	—	—	—	▨				
		牧草裏作	水田									○	○	—	—	—	—	—	▨					○	○	—	—	—	—	—	▨					○	○	—	—	

4．生 産 計 画

（第９表－３）

事業名	項目／土地利用区分		作物名	作付面積 (ha) 現況	作付面積 (ha) 計画	作付面積 (ha) 増減	作付率 (%) 現況	作付率 (%) 計画	単位面積当たり収量 (kg/10a) 現況	単位面積当たり収量 (kg/10a) 計画	単位面積当たり収量 (kg/10a) 増減	生産量 (t) 現況	生産量 (t) 計画	生産量 (t) 増減	同左生産量増減の内訳(t) 面積増減	同左生産量増減の内訳(t) 単位面積当収量増加	備考
農地耕作条件改善事業	水田	表作	水稲	1.5	1.6	0.1	75	43	458	467	9	6.9	7.5	0.6	0.5	0.1	※本地面積
		裏作	牧草	－	1.6	1.6	－	43	－	759	759	－	12.1	12.1	12.1	－	
	普通畑	表作	牧草	0.5	0.5	－	25	14	759	759	－	3.8	3.8	－	－	－	
	計			2.0	3.7	1.7	100	100									
合計				2.0	3.7	1.7											

５．労働改善計画　　（第９表－４）

事業名	項目 / 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a) 区分	現況	計画	増減	備考
農地耕作条件改善事業	水田	水稲	1.6	人力	69.5	24.0	△ 45.5	区画整理地区のみ
				機械力	33.0	13.4	△ 19.6	
				人力	－	－		
				機械力	－	－		
				人力	－	－		
				機械力	－	－		
	普通畑							
			1.6					
合計			1.6					

6．級地別土地利用区分　　該当なし　　（第９表－５）

区分 / 級地名 / 土地利用区分		農用地造成（ha）					干拓（ha）					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	（普通畑）											
	（牧草畑）											
	樹園地											
	（果樹園）											
	（桑園）											
その他												
計												

7．土地配分計画　　該当なし　　（第９表－６）

項目 / 区分	配分戸数	地目別配分計画（ha）								備考
		田	転換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増反		（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	
入植		（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	

第３節　用　水　計　画

１．計 画 基 準 年

ア．　平成　　10　年

イ．　決定方法及びその理由

平成5年～令和4年の倉吉観測所における1/10年確率連続干天日数及び有効雨量をもとに決定した。

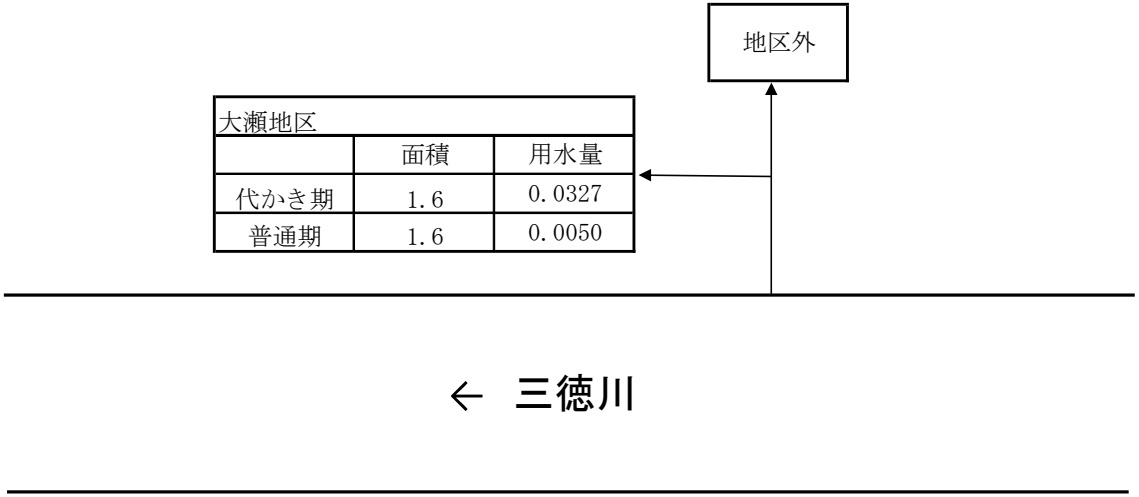
２．計画かんがい方式

開水路による一筆かんがい方式

かんがい期間

水田	5	月	10	日	～　9 月 10 日	（代かき日数　3 日）
畑	5	月	10	日	～　9 月 10 日	

３．計画用水系統



凡例

地区名
代かき期用水量（m3/s）
普通期用水量（m3/s）

4．計画用水量

（1）かんがい用水　　（第１０表－１－１）

項目／系統名	種別	面積(ha) 区画整理	面積(ha)	面積(ha) 計	水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量 (mm/日)	水田かんがい 代かき期 計画代かき単位用水量 (mm)	水田かんがい 面積 (ha)	水田畑利用 平均かん水深 一日当たり計画 (mm/日)	水田畑利用 平均間断日数 (日)	水田畑利用 面積 (ha)	畑地かんがい 平均かん水深 一日当たり計画 (mm/日)	畑地かんがい 平均間断日数 (日)	畑地かんがい 面積 (ha)	その他 計画平均単位用水量 (mm/日)	その他 面積 (ha)	消費水量 (m^3/s)	損失率 (%)	粗用水量 平均 (m^3/s)	粗用水量 最大 (m^3/s)	備考
天神川水系 三徳川		1.6		1.6	25	150	1.6	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0278	15		0.0327	
計		1.6		1.6			1.6									0.0278			0.0327	

（2）営農飲雑用水　　該当なし　　（第１０表－１－２）

区分	利用目的	対象面積(ha) 事業名		計	日当たり給水量 単位給水量 (リットル/日)	日当たり給水量 最大給水量 1.2	補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考

5．水 源 計 画

（1）水利用計画　　（第１０表－２）

項目／区分	消費水量 a (千m^3)	有効雨量 b (千m^3)	純用水量 c=a-b (千m^3)	粗用水量 d=c/(1-α) (千m^3)	現況利用可能水量 水源名	現況利用可能水量 取水地点利用可能量 e (千m^3)	現況利用可能水量 ほ場利用可能量 f (千m^3)	不足量 純不足水量 g=c-f (千m^3)	不足量 全不足水量 h=d-e (千m^3)	水源依存量 水源名	水源依存量 水量 (千m^3)	水源工種	備考 損失率：α
計													

（２）用水対策

（ア）貯　水　池　　該当なし　　（第１０表－３）

項目 / 貯水地名	流域面積 (km²) 直接	流域面積 (km²) 間接	かんがい面積(ha) 事業名		かんがい面積(ha) 計	純貯水量 (千m³)	利用貯水量 (千m³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m³/s)	備考

（イ）井堰及び自然取入口　　（第１０表－４）

項目 / 取水施設名	河川名	流域面積 (km²)	かんがい面積(ha) 事業名		かんがい面積(ha) 計	取水量(m³/s) 最大	取水量(m³/s) 平均	渇水量 (m³/s)	備考
計									

（ウ）揚　水　機　　該当なし　　（第１０表－５）

項目 / 名称	水源名	かんがい面積(ha) 事業名		かんがい面積(ha) 計	所要水量(m³/s) 最大	所要水量(m³/s) 平均	揚水機 実揚程 (m)	揚水機 揚水量 (m³/s)	揚水機 台数 (台)	揚水機 全揚水量 (m³/s)	備考

（エ）用　水　路　　（第１０表－６）

項目 / 名称	かんがい面積(ha) 事業名 区画整理		計	最大通水量 (m^3/s)	延長 (km)	構造	備考
幹線用水路							
支線用水路	1.6		1.6	0.0327	0.3	用水溝300×300	
計	1.6		1.6				

（オ）その他の水源施設　　該当なし

（３）水温水質　　該当なし

第４節　排　水　計　画

１．計画基準雨量

183.4 mm/day（1/10年確率雨量）
116.9 mm/day（1/2年確率雨量）

２．計画排水方式

自然排水

３．計画排水系統

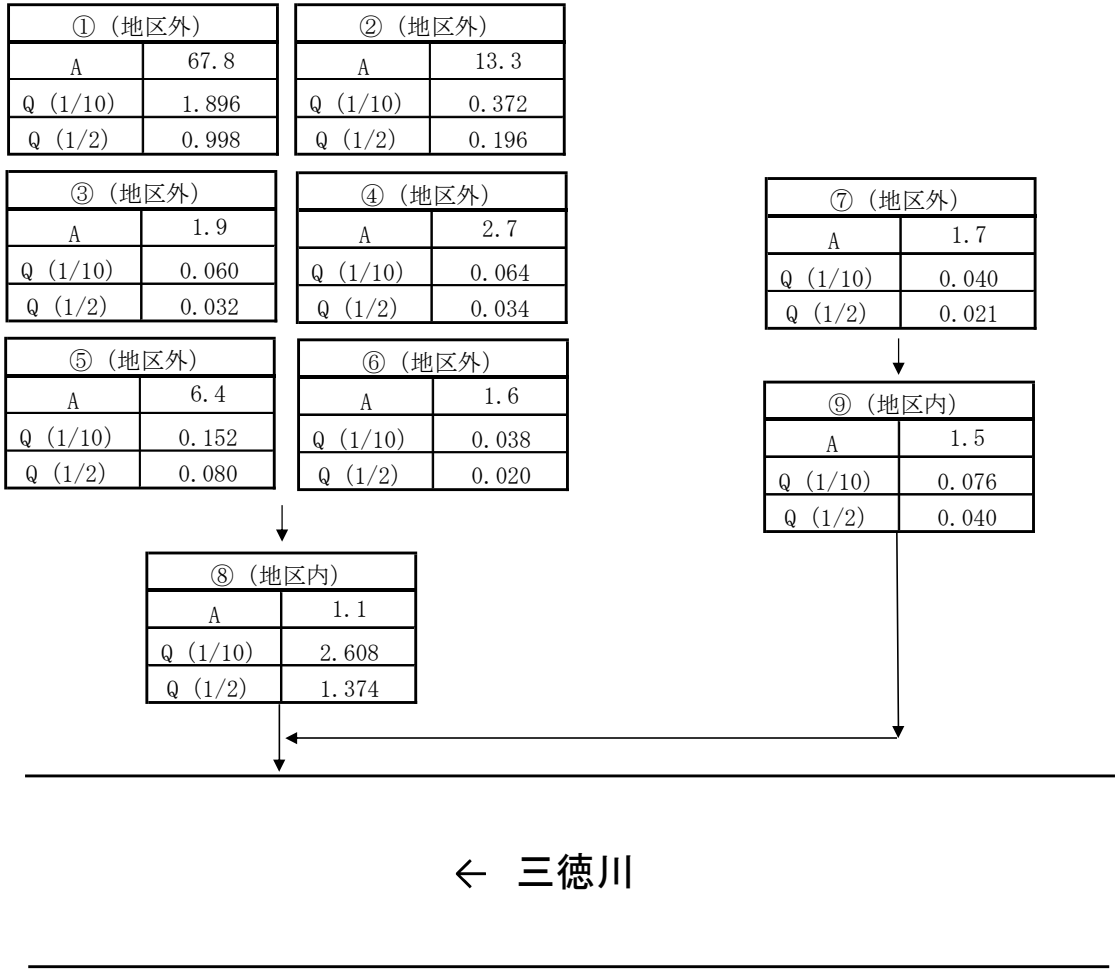
別紙の通り

４．計画排水量

（第１１表－１）

項目 / 排水系統名	受益面積(ha) 事業名 区画整理	受益面積(ha) 事業名 計	流域面積 (km^2) 平らな耕地	流域面積 (km^2) 山地	流域面積 (km^2) 市街	基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 ($m^3/s/km^2$) 平らな耕地	降雨による直接単位流出量 ($m^3/s/km^2$) 山地	降雨による直接単位流出量 ($m^3/s/km^2$) 市街	基底流出量 ($m^3/s/km^2$) ―	全排水量(m^3/s) 平らな耕地	全排水量(m^3/s) 山地	全排水量(m^3/s) 市街	単位排水量 ($m^3/s/km^2$) 平らな耕地	単位排水量 ($m^3/s/km^2$) 山地	単位排水量 ($m^3/s/km^2$) 市街	備考
三徳川	2.1	2.1	0.150	0.811	0.019	183.4	2.375	2.797	3.167	―	0.356	2.268	0.060	2.375	2.797	3.167	

排水系統図


①（地区外）
A 67.8
Q（1/10） 1.896
Q（1/2） 0.998
②（地区外）
A 13.3
Q（1/10） 0.372
Q（1/2） 0.196
③（地区外）
A 1.9
Q（1/10） 0.060
Q（1/2） 0.032
④（地区外）
A 2.7
Q（1/10） 0.064
Q（1/2） 0.034
⑤（地区外）
A 6.4
Q（1/10） 0.152
Q（1/2） 0.080
⑥（地区外）
A 1.6
Q（1/10） 0.038
Q（1/2） 0.020
⑦（地区外）
A 1.7
Q（1/10） 0.040
Q（1/2） 0.021
⑧（地区内）
A 1.1
Q（1/10） 2.608
Q（1/2） 1.374
⑨（地区内）
A 1.5
Q（1/10） 0.076
Q（1/2） 0.040

← 三徳川

5．排水対策

（1）排水水門　　該当なし　　（第１１表－２）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積(ha) 事業名			計画排水量		排水本川			備考
				計	排水量 (m³/s)	地区内湛水深(m)	名称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)	
計										

（2）排　水　機　　該当なし　　（第１１表－３）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積(ha) 事業名			計画排水量		排水機				備考
				計	排水量 (m³/s)	地区内湛水深(m)	実揚程 (m)	排水量 (m³/s)	台数 (台)	全排水量 (m³/s)	
計											

（3）排　水　路　　（第１１表－４）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積(ha) 事業名			計画排水量 (m³/s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		区画整理		計				名称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)	
1号排水路	0.032	1.1		1.1	0.076	0.13	排水溝300×300	三徳川	－	－	
2号排水路	0.005	0.5		0.5	0.012	0.12	排水溝300×300	三徳川	－	－	
3号排水路	0.948	0.5		0.5	2.608	0.24	大型ﾌﾘｭｰﾑB1200×H1000	三徳川	－	－	
計		2.1		2.1		0.49					

（4）そ　の　他　　該当なし

6．たん水検討　　該当なし

第５節　道　路　計　画

１．道路及び索道

（１）道　路　　（第１２表－１）

項　目 路　線　名	幅（有効） (m)	×　延長 (km)	構　　造	既設道路との関係	備　　考
第１号道路	4.0（3.0）	× 0.21	砕石舗装	新設	区画整理
第２号道路	4.0（3.0）	× 0.06	砕石舗装	新設	〃
第３号道路	4.0（3.0）	× 0.06	砕石舗装	新設	〃
第４号道路	4.0（3.0）	× 0.07	砕石舗装	新設	〃
第５号道路	2.5（2.0）	× 0.12	砕石舗装	新設	〃
第６号道路	2.5（2.0）	× 0.09	砕石舗装	新設	〃
計		0.61			

（２）策　道　　該当なし　　（第１２表－２）

項　目 路　線　名	能　　力 (t/hr)	延　　長 (m)	接続道路名	備　　考
計				

２．路線配置図

3号排水路　L=243.5m
2号排水路　L=118.7m
6号道路　L＝92.9m
字砂子田
字八幡
字石原
字上鴨瀬
字青木前
1号道路　L＝212.3m
2号道路　L＝57.2m
3号道路　L＝59.9m
4号道路　L＝69.3m
5号道路　L＝120.5m
1号排水路　L=125.9m
1号用水路　L＝266.8m
凡　例
種　別
記　号
地区界
計画道路
計画用水路
計画排水路
既設道路

第６節　農用地造成計画

１．農用地造成計画

（１）農用地造成計画　　該当なし

（第１３表－１）

項目 / 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備考

（２）末端道水路配置図　　該当なし

２．土壌改良　　該当なし

（第１３表－２）

項目 / 区分	面積 (ha)	土壌統（区）名	pH		置換酸度 (Y_1)	りん酸吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
			H_2O	KCl			石炭 (t)	りん酸質資材(t)	有機質資材 (t)	

第７節　洪水調節計画

１．計画基準雨量　　該当なし

２．計画洪水量及び調節量　　該当なし

（第１４表－１）

地点	流域面積 (km^2)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m^3/s)	安全洪水量 (m^3/s)	必要調節量 (m^3/s)	ピーク時調節量 (m^3/s)	ピーク時調節後流量 (m^3/s)	調節後最大流量 (m^3/s)	調節前後の最大流量の差 (m^3/s)	最大調節量 (m^3/s)

３．貯水池　　該当なし

（第１４表－２）

項目 / 貯水池名	流域面積(km^2)		計画洪水量 (m^3/s)	貯水量（千m^3）			計画調節流量 (m^3/s)	可能調節流量 (m^3/s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

４．洪水調節検討

（１）河川改修計画との関係　　該当なし

（２）洪水調節が下流に及ぼす影響　　該当なし

（３）計画基準雨量以外の降雨についての検討　　該当なし

５．管理計画

（１）管理機構　　該当なし

（２）ダム管理操作上の各種基準　　該当なし

（３）洪水調節要領　　該当なし

第８節　干　拓　計　画　　該当なし

（第１５表）

項目／名称	延長 (m)	計画高潮（水）位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第９節　農用地整備計画

１．区　画　整　理

（１）区画の形状　　（第１６表－１）

長　辺　×　短　辺	区　画　面　積 (ha)	全　体　面　積 (ha)	割　合 (%)	田　面　差 (m)	備　考
48　×　23	0.11	1.6	76.2	0～0.5	水田
29　×　19	0.06	0.5	23.8	0.1～0.3	畑
計		2.10	100		

（２）表土扱い　　（第１６表－２）

面　積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱　い　深 (cm)	土　量 (m^3)	備　考
2.1	耕作土の確保のため	15	3,150	
計				

（３）末端導水路配置図　　該当なし

２．暗　渠　排　水

（１）暗渠排水　　該当なし　　（第１６表－３－１）

項目 / 区分	面積(ha) 事業名 区画整理		計	土壌統（区）分	基準雨量(mm/日)	単位排水量(ﾘｯﾄﾙ/s/ha)	計画後の地下水位(m)	集水渠出口以下の排水方式	備考
計									

（２）心土破砕　　該当なし　　（第１６表－３－２）

項目 / 区分	面積(ha) 事業名		計	土壌統（区）分	土壌硬度	備考
計						

３．客　　土　　（第１６表－４）

項目 / 区分	面積(ha) 事業名 区画整理		計	土壌統(区)名	減水深(mm/日) 現況平均	減水深(mm/日) 計画平均	作土の厚さ(cm) 現況平均	作土の厚さ(cm) 計画平均	10a当たり客土量(m^3)	土壌の性質 受益地(%)	土壌の性質 採土地(客土材料)(%)	備考
類型番号63	2.1		2.1	灰褐色土壌 壌土ﾏﾝｶﾞﾝ型	22	22	15	20	50			
計												

４．農　地　保　全

（１）防災林　　該当なし　　（第１６表－５－１）

項目／区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

（２）排水工　　該当なし　　（第１６表－５－２）

項目／名称	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 ($m^3/s/ha$)	全排水量 (m^3/s)	

（３）侵食（崩壊）防止工　　該当なし　　（第１６表－５－３）

項目／施設名	位置	支配面積 (ha)	機能	備考
計				

第１０節　老朽ため池改修計画

１．洪水吐改修計画　　該当なし

（１）計画基準雨量

（２）計画洪水量

２．堤体補強計画　　該当なし

３．取水施設改修計画　　該当なし

第５章　主要工事計画

第１節　用水施設

１．貯　水　池　　該当なし　　（第１７表－１）

名　称				位　置						備　考
堤　体	形　式	流域面積(km^2)		堤　高 (m)	堤　長 (m)	堤 体 積 (m^3)	基礎地盤 地　質	貯水量(千m^3)		
		直　接	間　接					総貯水量	有効貯水量	
洪　水　吐	型　式	洪水量 (m^3/s)		取 水 施 設	型　式	取 水 量 (m^3/s)	放 流 施 設	型　式	放 流 量 (m^3/s)	

２．頭　首　工　　（第１７表－２）

名　称					位　置			備　考
形　式	堤　高 (m)	堤　長　(m)			取　水　位 (m)	取　水　量 (m^3/s)	付 帯 施 設	
		固定部	可動部	計				

３．揚　水　機　　該当なし　　（第１７表－３）

項　目 / 名　称	位　置	揚　水　量 (m^3/s)	揚　程　(m)		揚　水　機			原　動　機			備　考
			全揚程	実揚程	型　式	口径 (mm)	台数 (台)	型　式	動力 ()	台数 (台)	

４．用　水　路　　（第１７表－４）

項目 / 水路名	かんがい面積(ha) 事業名 区画整理	農業用用水路整備	計	通水量 (m^3/s)	延長(km) 開きょ	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
幹線用水路											
支線用水路	1.6		1.6	0.0327	0.30		0.30	用水溝300×300	1/300		
計	1.6		1.6		0.30		0.30				

５．その他のかんがい施設　　該当なし

第２節　排水施設

１．排水水門　　該当なし

（第１８表－１）

項目 / 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m^3/s)	備考
計							

２．排　水　機　　該当なし

（第１８表－２）

項目 / 名称	位置	排水量 (m^3/s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	台数 (台)	
計											

３．排　水　路

（第１８表－３）

項目 / 水路名	受益面積(ha) 事業名 区画整理		計	排水量 (m^3/s)	延長(km) 開きょ	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
1号排水路	1.1		1.1	0.076	0.13		0.13	排水溝300×300	1/200		
2号排水路	0.5		0.5	0.026	0.12		0.12	排水溝300×300	1/200		
3号排水路	0.5		0.5	2.608	0.24		0.24	大型ﾌﾘｭｰﾑB1200×H1000	1/200		
計	2.1		2.1	2.710	0.49		0.49				

４．その他排水施設　　該当なし

第３節　道路及び索道

１．道　　路

（１）道路の総括表　　（第１９表－１）

項目／区分	路線名	幅（有効）×延長 (m) (km)	構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
支線道路	第１号道路	4.0（3.0）× 0.21	砕石舗装							
〃	第２号道路	4.0（3.0）× 0.06	〃							
〃	第３号道路	4.0（3.0）× 0.06	〃							
〃	第４号道路	4.0（3.0）× 0.07	〃							
〃	第５号道路	2.5（2.0）× 0.12	〃							
〃	第６号道路	2.5（2.0）× 0.09	〃							
計		0.61								

（２）道路主要構造物　　該当なし　　（第１９表－２）

項目／路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

２．索　　道　　該当なし　　（第１９表－３）

項目／名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				型式	動力 ( )	

第４節　農用地造成

１．農用地造成工　　該当なし

（１）抜　　根　　該当なし　　（第２０表－１）

項目 / 名称	樹　種	樹　径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面　積 (ha)	工　法	備　考
計						

（２）除　　礫　　該当なし　　（第２０表－２）

項目 / 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面　積 (ha)	工　法	備　考
計					

（３）開墾作業　　該当なし　　（第２０表－３）

項目 / 区分		面　積 (ha)	工　法	備　考
地目				
計				

（４）地目変換　　該当なし　　（第２０表－４）

項目 / 区分	面　積 (ha)	工　法	備　考
計			

（５）末端用水路等　　該当なし　　（第２０表－５）

項目 区分	数量	規模	構造	備考
計				

（６）末端排水路等　　該当なし　　（第２０表－６）

項目 区分	数量	規模	構造	備考
計				

２．土壌改良　　該当なし　　（第２０表－７）

項目 区分	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
計					

第５節　洪水調節施設

１．貯　水　池　　該当なし

２．頭首工及び導水路　　該当なし

（１）頭　首　工　　該当なし　　（第２１表－２）

名　　称			位　　置					備　　考
形　　式	集水面積 (km^2)	堤　高 (m)	堤　長　(m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	
			固定部	可動部	計			

（２）導　水　路　　該当なし　　（第２１表－３）

項目 / 水路名	通水量 (m^3/s)	延　長　(m)			構　造	勾　配	備　考
		トンネル	その他	計			

第６節　干拓施設

１．堤　　防　　該当なし　　（第２２表－１）

項目 / 名称	型式	延長(m)	構造					原地盤標高(m)		備考
			堤頂標高(m)	盛土幅(m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

２．潮　止　め　　該当なし　　（第２２表－２）

項目 / 水路名	工法	幅員(m)	敷高標高(m)	潮止め堤標高(m)	最大流速(m/s)	床固め構造	備考

３．付属施設　　該当なし

４．埋　　立　　該当なし　　（第２２表－３）

項目 / 区分	面積(ha)	埋立標高(m)	埋立土量(m^3)	施工方法	備考

第７節　農用地整備施設

１．区画整理

（１）区画整理　　（第２３表－１）

工　区　名	面　積 (ha)	整　地　工		表　土　扱　い		備　考
		標　準　区　画	土　量　(m³)	面　積　(ha)	土　量　(m³)	
全体	2.1	42×22	－	2.10	3,150	現況表土厚 t=15cm
			－	－	－	
			－	－	－	
計	2.1			2.1	3,150	

（２）末端用水路等　　該当なし　　（第２３表－２）

項目 / 区分	数　量	規　模	構　造	備　考
計				

（３）末端排水路等　　該当なし　　（第２３表－３）

項目 / 区分	数　量	規　模	構　造	備　考
計				

２．暗渠排水

（１）暗渠排水　　（第２３表－４－１）

項目 / 区分	面積 (ha) 事業名 区画整理		計	集水渠 勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	吸水渠 勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	集水渠出口以下の排水施設 名称	構造	数量 (m/ha)	備考
計																	

（２）心土破砕　　（第２３表－４－２）

項目 / 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

３．客　土　　（第２３表－５）

項目 / 区分	面積 (ha) 事業名 区画整理		計	客入土量 (m^3)	土取場土量 (m^3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
全体	2.1		2.1	1,000	－	－	－	購入土
計	2.1		2.1					

４．除　礫　　該当なし　　（第２３表－６）

項目 / 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

４．農地保全

（１）防　災　林　　該当なし　　（第２３表－７）

項目 区分	幅 (m)	延　長 (m)	面　積 (ha)	樹　種	植栽本数 (本)	備　考
計						

（２）排　水　路　　該当なし　　（第２３表－８）

項　目 区　分	延　長 (m)	流　量 (m^3/s)	構　造	備　考
計				

（３）侵食防止工　　該当なし　　（第２３表－９）

項　目 名　称	構　造	数　量	備　考
計			

第８節　老朽ため池改修施設

１．貯　水　池　　該当なし

（第２４表）

名　　称					位　　置			
堤体	型　　式	流　　域 (km^2)	堤　　高 (m)	堤　　長 (m)	堤　体　積 (m^3)	堤　頂　幅 (m)	貯水量 (千m^3)	備　　考
洪水吐	型　　式	排　水　量 (m^3/s)	規　　模 (m)	備　　考	取水施設	型　　式	取　水　量 (m^3/s)	備　　考

２．堤体補強施設

（１）のり面保護施設　　該当なし

（２）漏水防止工　　該当なし

第６章　付帯工事計画

該当なし

第７章　工事の着手及び完了の予定時期

項目 工区	着手年度	完了予定年度	備考
区画整理	令和　8　年度	令和　9　年度	

第８章　環境との調和への配慮

環境配慮調書（事業名：農地耕作条件改善事業）

<table>
<tr><td colspan="2">事業名</td><td colspan="2">農地耕作条件改善事業</td><td>県名</td><td>鳥取</td><td>地区名</td><td>大瀬</td><td>市町村名</td><td>三朝町</td></tr>
<tr><td rowspan="3">田園環境整備マスタープラン</td><td colspan="2">市町村名</td><td>三朝町</td><td colspan="3"></td><td rowspan="3">本地区における環境配慮の方法</td><td rowspan="2">施工上の配慮</td><td colspan="2" rowspan="2">・施工中、貴重な動植物を発見した場合、直ちに関係機関に報告し、近くの安全な場所に移動する。
・施工期間中は濁水を発生抑制するよう努める。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">特に配慮すべき動植物等</td><td>動植物</td><td>絶滅危惧Ⅱ類：ｵｵｻﾝｼｮｳｳｵ
準絶滅危惧　：ヤマメ
保護上重要な種：カジカガエル</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>その他
（景観・文化財等）</td><td>特になし。</td><td colspan="3"></td><td>施設計画上の配慮</td><td colspan="2">・排ガス規制適合車両の使用により、周辺環境への有害物質の発生量を抑制する。
・工事期間中は沈砂池を設置するなど、濁水防止の措置を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="4">本地区での配慮・創造の区分</td><td colspan="5">環境創造区域</td><td colspan="2" rowspan="2">田園環境整備マスタープランとの整合性</td><td colspan="2" rowspan="2">カジカガエルは河川の本流や支流に生息しており、工事区域内において影響はないが、工事中に河川本流へ汚濁水が流れ出ないよう水質汚濁防止措置を講じる。</td></tr>
<tr><td colspan="4">本地区で配慮すべき動植物等</td><td colspan="5">カジカガエル</td></tr>
<tr><td colspan="4">調査した時期とその内容</td><td colspan="5">令和5年10月から令和6年6月にかけ、意見交換会に先立ち、現地調査の実施。</td><td colspan="2">配慮内容の決定根拠</td><td colspan="2">＜環境配慮に係る意見交換会＞
（令和6年7月29日）
【検討メンバー】
常任委員（学識経験者等）　：　4名
事務局（鳥取県）　：15名

＜専門家の意見聴取＞
（令和6年9月20日）
【専門家】
三朝温泉かじか蛙保存研究会：塩谷俊樹氏</td></tr>
</table>

第９章　換地計画の概要

第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

事業実施地区における農用地の集団化と農業構造の改善及び土地利用の合理化に資するため、換地計画を定める。

第２節　換地区の設定

１．換地区の名称、所在、面積　（第２５表－１）

換　地　区　名	換　地　区　の　所　在	面　積	備　考
大　瀬	東伯郡三朝町大字大瀬	2.6	
計		2.6	

２．換地区を設定する理由

該当無し

第３節　換地計画樹立の基本方針

１．従前の土地の地積の基準　（第２５表－２）

換　地　区　名	地　積　の　基　準
大　瀬	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、国土調査法による地籍調査が完了している土地であり土地改良事業計画認可の日の登記簿地積とする。

２．用途別予定地積

（単位 ： ha）　（第２５表－３）

換地区名	用途（取得予定者）／前後	非農用地区域外に換地する土地												非農用地域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施工地域に含める土地（令第１条の９（　）書き）			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村他	合計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計			宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上・経営上必要な施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等	計							
大瀬	従前の土地	1.8	0.5					—	2.3			—		2.3													0.3	0.3		2.6
	換地	1.6	0.5					—	2.1			—		2.1													0.5	0.5		2.6
計	従前の土地	1.8	0.5						2.3					2.3													0.3	0.3		2.6
	換地	1.6	0.5						2.1					2.1													0.5	0.5		2.6

３．農用地集団化の方針

（第２５表－４）

区分 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	１戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
大　瀬	地目別集団化	従前地の密集した位置を中心に換地	1	移動畦畔

４．非農用地の換地方法

（第２５表－５）

区分 換地区名	用　途	非農用地区域の位置の概略	面　積 (m^2)	換地の手法	換地取得予定者	そ　の　他

第４節　土地の評価及び清算の方法

１．評価の方法

項目別配点方式

２．清算の方法

従前地比例地積清算方式

第５節　換地計画樹立の年度計画

（第２５表－６）

区　分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備　　考
大　　瀬	令和８年度	令和９年度	令和９年度	

第６節　換地処分の時期に関する特則

換地地区の全部について、区画工事が完了し、確定測量が行われたとき、土地改良法第９６条の４第１項で準用する同法第５４条第２項本文の規定にかかわらず、区域全部の工事が完了する以前において換地処分を行うものとする。

第１０章　事業費の総額及び内訳

総　　額　　114,975 千円

（第２６表）

区分 ＼ 事業名		農地耕作条件改善事業					備考
		総額（千円）	内訳				
			区画整理				
直接工事費	・純工事費	38,027	38,027				令和６年度単価
	・・区画整理工	38,027	38,027				
	・・・整地工	10,270	10,270				
	・・・土層改良	5,259	5,259				
	・・・道路工	1,869	1,869				
	・・・用水路工	3,431	3,431				
	・・・排水路工	17,198	17,198				
諸経費		29,245	29,245				
工事費計		67,272	67,272				
補償費		10,000					
測量試験費		11,818					
換地費・確測費		10,455					
地方事務費		5,475					
消費税		9,955					
合計		114,975					
関連事業（参考）							

第１１章　効　　用

（第２７表）

事業名	項　目 区　分	年増加見込効果額 （千円）	年増加見込所得額 （千円）	備　　考
区画整理	作物生産効果	78	141	
	営農経費節減効果	5,128	5,128	
	維持管理費節減効果	9	9	
	国産農産物安定供給効果	156	－	
	計	5,371	5,278	
	計			
合　　計		5,371	5,278	

※効用の算定は新たな土地改良の効果算定マニュアル（2015年、農林水産省農村振興局整備部監修）による。

＜　参　考　＞

妥当投資額　　104,241　千円

第１２章　関連する事業　　該当なし

（第２８表）

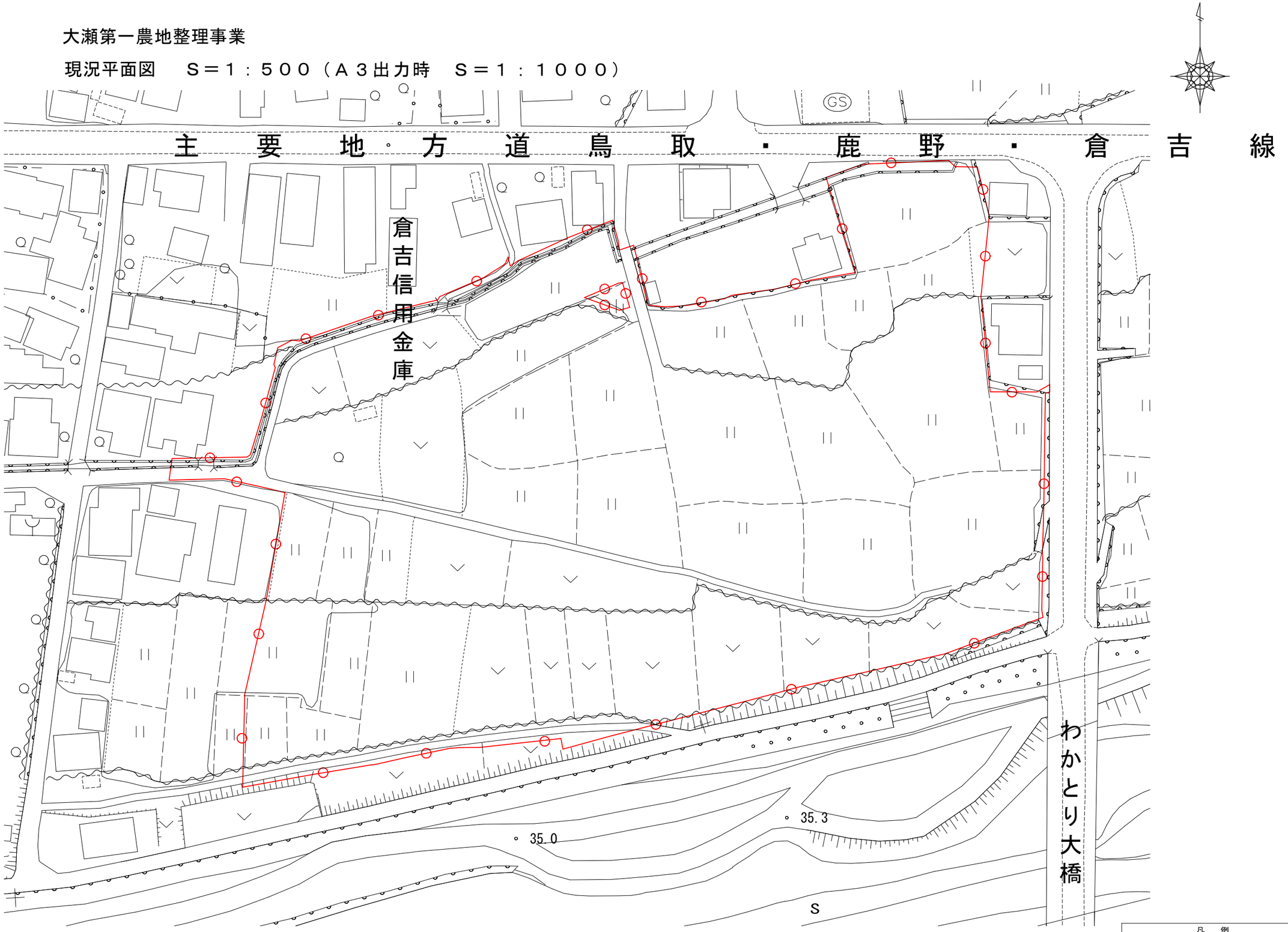
区分	事　業　名	事業主体	受益面積(ha)	事　業　内　容

第１３章　現況・計画図面

１．現況平面図　　別添のとおり
２．計画平面図　　別添のとおり
３．土地利用計画図　該当なし
４．主要構造物　該当なし

大瀬第一農地整理事業

現況平面図　Ｓ＝１：５００（Ａ３出力時　Ｓ＝１：１０００）

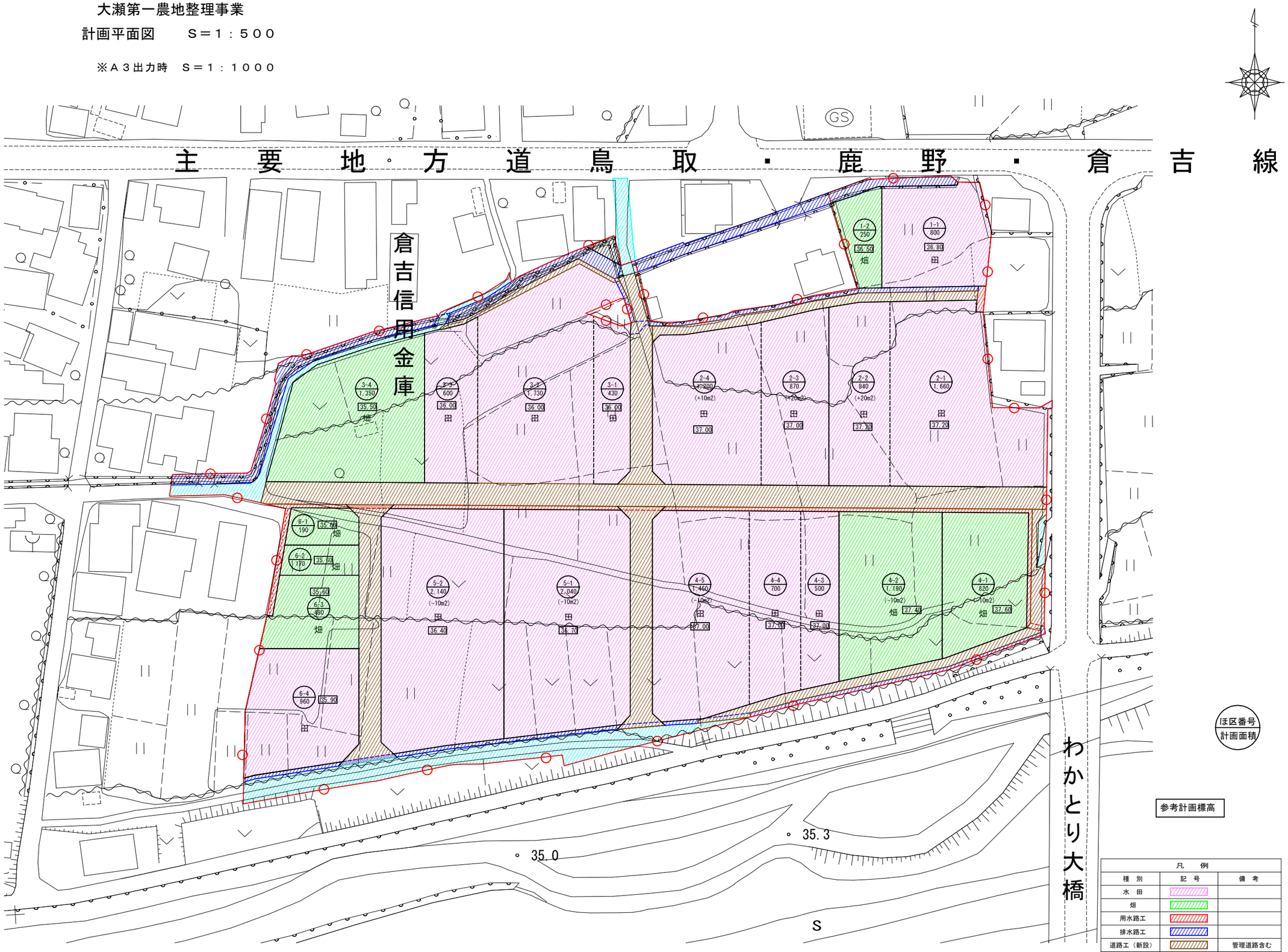


凡　例		
種　別	記　号	備　考
地区界		

大瀬第一農地整理事業

計画平面図　　Ｓ＝１：５００

※Ａ３出力時　Ｓ＝１：１０００



ほ区番号
計画面積

参考計画標高

凡　例		
種　別	記　号	備　考
水　田		
畑		
用水路工		
排水路工		
道路工（新設）		管理道路含む
道路工（既設利用）		管理道路含む
残　地		
地区界		